

松本信道先生略歴・論文目録

略歴

- 昭和四九年三月（一九七四年三月） 駒澤大学大学院人文科学研究科日本史学専攻修士課程修了
昭和五一年四月（一九七八年四月） ～平成七年三月（一九九五年三月） 駒澤大学文学部助手
平成七年四月（一九九五年四月） ～平成一八年三月（二〇〇六年三月） 同 専任講師
平成一八年四月（二〇〇六年四月） ～ 同 准教授。現在に至る。

論文目録

- 「奈良時代の私度僧に関する歴史的考察」（『駒沢史学』第二〇号、一九七三年三月）
「天武・持統朝の護国經典の受容について」（『駒沢史学』第二四号、一九七七年三月）
「奈良時代の優婆塞・優婆夷に関する一考察——特に知識集団との関連について——」（『駒沢史学』第二六号、一九七九年三月）
「『東大寺要録』良弁伝について」（『駒沢史学』第二九号、一九八二年三月）
「『大仏頂経』の真偽論争と南都六宗の動向」（『駒沢史学』第三三号、一九八五年三月）
「安澄『中論疏記』所引『淡海記』逸文（覚書）」（『国書逸文研究』第一六号、一九八五年二月）
「『東大寺要録』典籍・文書名索引（稿）」（『国書逸文研究』第一八号、一九八六年二月）

- 『扶桑略記』 典籍・文書名索引 (稿) (『国書逸文研究』 第一八号、一九八六年二月)
 『延暦僧録』 戒明伝の史料的特質 (『駒沢史学』 第三七号、一九八七年十一月)
 『文字集略』 国書説批判 (『駒澤大学文学部研究紀要』 第四十八号、一九九〇年三月)
 『三論・法相對立の始源とその背景——清弁の『掌珍論』受容をめぐって——』 (平井俊榮監修『三論教学の研究』所収、春秋社、一九九〇年一〇月)
 『空有論争の日本的展開』 (『駒澤大学文学部研究紀要』 第四九号、一九九一年三月)
 『大安寺三論学の特質』 (渡辺直彦編『古代史論叢』所収、続群書類従完成会、一九九四年七月)
 『靈異記』 下巻十九縁の再検討——その史実と虚構—— (『駒澤大学文学部研究紀要』 第五十三号、一九九五年三月)
 『東大寺六宗未決義』の思想史的意義 (『駒沢史学』 第六一号、二〇〇三年十一月)
 『靈異記』 下巻第十九縁補考 (『駒澤大学佛教文学研究』 第八号、二〇〇五年三月)
 『宝誌像の日本請来の背景について』 (『駒澤大学文学部研究紀要』 第六十三号、二〇〇五年三月)
 『智光墮地獄説話成立の背景——『靈異記』 中巻七話を中心として——』 (『駒沢史学』 第六五号、二〇〇五年七月)
 『万葉集』 卷六所載「元興寺之僧自嘆歌」の成立の背景 (『駒澤大学佛教文学研究』 第九号、二〇〇六年三月)
 『宝誌像の日本伝播 (一)——大安寺を中心として——』 (『駒澤大学文学部紀要』 第六四号、二〇〇六年三月)
 『宝誌像の日本伝播 (二)——天台入唐・入宋僧を中心として——』 (『駒澤大学文学部研究紀要』 第六五号、二〇〇七年三月)
 『智光という名の隠喩 (メタファー)』 (『駒澤大学文学部研究紀要』 第六七号、二〇〇九年三月)
 『淡海三船『送戒明和尚状』の再検討』 (『駒澤大学佛教文学研究』 第二三号、二〇一〇年三月)
 『徳清の入唐について』 (『駒澤大学文学部研究紀要』 第六八号、二〇一〇年三月)

- 「膳大丘による金剛藏菩薩撰『金剛般若経注』将来の背景」(『駒沢史学』第七七号、二〇一二年三月)
- 「法隆寺僧行信の思想」(『駒澤大学文学部研究紀要』第七一号、二〇一三年三月)
- 「懐風藻」釈道慈詩・序の再検討」(『駒澤大学佛敎文学研究』第一七号、二〇一四年二月)
- 「行信の伝記に関する諸問題」(『駒澤大学文学部研究紀要』第七二号、二〇一四年三月)
- 「延暦僧録」班爵居士(大中臣諸魚)伝の一考察」(『駒沢史学』第八五号、二〇一六年三月)

著書

- 『日本仏敎史辞典』(共筆)(東京堂出版、一九七九年九月)
- 『秦野市史』古代・中世・寺社史料(共編)(秦野市史編さん委員会、一九八五年三月)
- 『秦野市史』通史一 古代・中世(分担執筆)(秦野市史編さん委員会、一九九〇年三月)